

記 事

例会案内

日本医史学会 10 月例会

令和4年10月22日(土)
オンライン開催

1. 「研医会図書館の蔵書紹介」

安部郁子(公益財団法人研医会)

眼科の図書館として設立された当館の蔵書について、東西の眼科書だけでなく、本草書、ラテン語やギリシャ語の古書、明清医学書、幕末の語学書、考証学者の自筆本など紹介する。

2. 「郡上医学の夢～美濃郡上藩の医師修業、同地方の江戸期医事」

森永正文(成医会 もりなが耳鼻咽喉科)

戦後の地方史ブームのもと刊行された『郡上八幡町史』史料編7巻を中心に、同地域の医学・医療事情の一端に触れてみたいと思う。

日本医史学会 11 月例会

令和4年11月26日(土)
オンライン開催

1. 「光後玉江の処剂録——近代初期の在村女性医師の診療記録を読み解く——」

木下 浩(長島愛生園歴史館学芸員/
岡山大学医学部客員研究員)

岡山県美咲町で江戸末期から明治中期まで

開業した女医光後玉江の診療記録を分析し、当時の地方における在村医の一事例を報告する。

2. 「歴史的観点から理解する医学用語語源」

杉田克生(千葉市療育センターセンター長/
千葉大学子どもこころの発達教育
研究センター 特任教授)

専門用語は作成された各時代の概念が背景にある。医学用語や疾患名を理解する上で、医学史を学ぶ意義を報告する。

以上は変更の可能性がありますので、必ず開催直前に医史学会のサイトをご確認ください。また、12月以降についても確定し次第、同サイトでご案内いたします。

<http://jsmh.umin.jp/events.html>



しばらくはZoomを用いたオンライン開催を継続いたします。参加方法については、日本医史学会事務局(jsmh@juntendo.ac.jp)にお問い合わせください。

また、本例会でのご発表を随時募集しております。ご希望の方は、演題・希望する月を明記の上事務局(同前)までご連絡下さい。原則として発表者は会員に限ります。